

# 学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 3月号

令和7年 3月 3日

校長 楠山 小百合



## 地域とともにある学校



### ～「まつの子」の成長～

汐小前海岸のサイクリングロード沿いにクロマツが植えられています。

この松は、汐見台小学校の児童によって植えられたものであることをご存じですか？

これは、汐見台小学校に平成24年に入学した児童たちが2年生の生活科の授業「まつの子を育てよう」で栽培したクロマツです。当時の担任の先生の指導の下、その児童たちは「みんな海と生きている」というテーマで、学校のすぐそばにある海浜自然生態園や湘南海岸で身近な生き物や植物にふれてきました。そして、砂防林で拾ってきた松ぼっくりから集めた種を苗へと育て、6年生の時に海岸砂防林に植えました。その松の苗は、厳しい海風にも耐え、力強く育ち、今では立派なクロマツの若木へと成長しています。

苗木を植林して年月が経ち、木々は成長し、林の中が混みあい、隣どうしの木と枝が重なりあうようになりました。そのままでは、枝葉を上げることができず、根も十分に張ることができなくなってしまいます。今回は、木々を林として育てるために、一部の木を抜き伐る「間伐」を苗を植えた汐見台小学校の卒業生や保護者によって実施することになりました。当時子どもだった卒業生も19歳。小学生の頃を懐かしく思い出しながら、「まつの子」から大きく育ったクロマツに自分の成長を重ねてのボランティア活動となりました。

私も作業に参加し、皆さんと汗を流しました。間伐することで、木々の間から光が差し込み、下草が茂ることで土や砂の飛散を防ぎ、様々な動植物が生育することで生物の多様性も向上するそうです。林をさらに豊かにするため、そして、命をつなげるためであることを理解し、自然に感謝しながらの作業でした。今回の間伐にご協力・ご指導いただいたNPO法人地球緑化センターの皆様、米作りでもお世話になっている平本さんはじめ藤沢土木事務所の皆様、技術指導員の皆様に感謝いたします。

汐見台小学校を巣立っていった児童や保護者の皆様が、地域の中での活動に参加していただけることを嬉しく思います。これからも汐見台小学校は、地域とともにある学校づくりを進めていきます。



さて、年度末を迎え、進学・進級に向けてまとめの時期になりました。先日の授業参観・懇談会には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。今年度最後の授業参観、この1年間の成長を感じていただける場面も多かったと思います。ぜひ、ご家庭でもお子さんの活躍や頑張りをほめていただき、次のステージに向けて子どもたちの励みとなるように学年の振り返りをさせていただければと思います。

学校では、新1年生を迎える準備も始まり、6年生は卒業式に向けての取り組みも始まりました。教育課程の区切りとなる卒業式や修了式まであとわずかです。2月になってからも、「ひと・もの・こと」との関わり合いの中で、さまざまな活動や体験を通して学習を深める場面が多くありました。これまでの体験や学びの積み重ねを、新たなステージでぜひ生かしてほしいと思います。